

代表結成実行委員会大全市国共学青 棄保安 525 6月にネスト貫徹

青会議を6月反安保学国ストの橋頭堡に!

1 安保・沖縄の課題をかかげ、インドシナ民族解放斗争に断固連帯せよ!

全市大の戦斗的学友諸君、現在カンボジア・インドネシアの情勢は、米帝の侵略戦争の軍事的破たん、そして北やトナム人民、南ベトナム解放民族戦線、ラオス愛国戦線、そしてカンボジア民族統一戦線等々の民族解放せんがの圧力的な斗争の高揚を示している。病めるアメリカは、一方に於る軍需産業の巨大な利益体のニクソンへのつきあがり、そして米国内を大きく動揺させた平和運動の盛り上がり等ますます矛盾を深めつつあり、全体として、東南アジアからの軍事的政治的脅威を余儀なくされている。更に、民族解放せんが、そして中ソをはじめとする社会主義陣営の人民の斗争、仏、伊、日等の先進資本主義国における反独占せんがの斗争、この三つの戦線に於る斗争が有機的に関連して口頭・反帝戦線を形成し、アメリカをはじめとする一握りの帝国主義者を変える独立化へと進みつつある。しかし、かかる米帝の後をひきつけて、GNP資本主義国オニ位の至るの實力を有する日本独占が、一流帝国主義として登場をせよと、日夜策謀していることに、我々は、今こそは、きりと目を向けねばならない。その最も顕著なあらわれがアジア会議への愛知外相の出席であったし、先日シリア会議共同コミュニケは、明確に米帝と一線を画してアメリカ敗北後のインドシナをみて、自らの政治的発言権を強めようとする日帝の意図が露呈されている。我々のいはいは、かかる日帝の侵略的野望を断固断絶すべく、日本政府の侵略加担に反対する斗争を組織し、沖縄の核付きギマン的返還を全人民的にバクローし、日帝の軍事力増強を阻止していくという方向性を持ったものでなければならぬ。

6・15〜6・23ストライキを貫徹すべくクラス討論、クラス決議をふまえん、安保放棄を目標とする貫徹青学共全全市大実行委員の結成に向け、てたちと上かれ!

全市大の学友諸君、六月には斗争者階級をはじめとする反社会勢力が自らの生活点において相対した斗争の成果を、まさに「安保的破壊、沖縄核基地撤去即時返還、生鮮肉割打」のスローガンを貫徹すべく全人民的な斗争の渦の中で開花せよと示している。我々は学生戦線において一ちの民青諸君のいふ「民放主義的運動」を、日知見主義、又一方のトロツキー主義諸派の極左日知見主義の存在と、一定程度の困難を前提としながらも、なおかつ正しいスローガンのもと「総勢方仲者と連帯し、課題と基本戦術の一致に基づく米斗」という原則的運動論を堅持して斗争の打ち上げはならぬ。学生共斗は、今こそ全クラスに於て直ちにクラス討論をまきおこし、斗争のエネルギーを蓄積し、原則的諸点に基づくクラス決議をかち取り、さらにその大派力的な背景に、安保放棄の目標を貫徹

青学共全、を結成していくことを大担に提起する。
二の全市大実行委員は、六月安保斗争の市大に於るとりくみを、全的に集約する斗争の要であり、我々はいかなる困難な状況にあつても断固として、その達成をかち取つてゆかねばならぬ。
全市大の学友諸君、6・15〜6・23ストライキを貫徹し、

平和と民主主義をめざす
学生共斗

学園に於て反安保斗争の歴史的展開を創すべく、今こそ学生共斗の指導のもとに、クラス討論をまきおこし、安保破壊の日せす上直徹書生共闘の結成をかちとうてはなにか！

「スローガン」

- 米帝のカンボジア侵略反対。
- 米軍にインドシナから撤退せよ。
- 「日米共同声明」に基づく日本政府の侵略協力反対。
- 「アジア会議」共同声明反対。
- 安保破壊 米軍基地撤去即時要求。
- 米軍への自衛隊配備反対。
- 日米共同声明実質化阻止。
- 佐藤内閣打倒。

一九七〇、五、二十一 山和と民主主義を
めぐる学生共闘会議書記局発行